



No. 400

2023年9月1日

発行 日本労働組合総連合会山口県連合会
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3F
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131
Eメール: rengo-yamaguchi@rengo-y.com

発行人 中元直樹
編集人 倉重里加

広報 連合山口

<https://rengo-y.com>

平成7年5月22日第3種郵便物承認 毎月1日発行 購読料1部15円(組合費に含む)

山口県労使雇用対策協議会 2023労使トップセミナー

『人手不足下での人材定着と生産性の向上』

山口県労使雇用対策協議会は、7月28日(金)に「2023労使トップセミナー」を開催し、連合山口から34名が出席しました。

講師に中村成博氏(株式会社Gentle代表取締役)を迎え、「人手不足下での人材定着と生産性の向上」について講演いただきました。

中村氏は、講演を始める際「『知っているかどうか』ではなく『今できているかどうか』の視点で聞いてほしい。セミナーを効果的に生かすには、実践することが大事」と述べたのち、「人手不足を解消するには、やみくもに採用するのではなく、まずは今いる人が辞めない職場をつくらなくてはいけない。人が職場を辞める大きな理由は人間関係。人間関係の悪い職場、雰囲気の良い職場にしようとは誰も思っていないはずなのにどうしてそうになってしまうのか、それ



▲講演の様子

は人間が『欠けているもの』に目がいくようにできているから。無意識に従業員や部下に対し不平不満を言い、不機嫌な態度を取り、あらさがしをしている可能性がある。人は自分を正当化するために相手を否定する傾向にある。しかし、人は自分のことを否定する人の話はどんなに正しいことを言っても聞く耳を持たなくなる。まずは相手のことを認め、その上で提案すると、こちらの言うことを受け

取ってくれるようになる。また、相手と話すときには顔だけでなく体も向ける、小さなことにもありがたさを伝える、など、少し自分の行動を変えるだけで、信頼関係ができていく。今日のセミナーも聞いて終わりではなく、行動を起こし、それを継続してほしい」と訴えました。

連合山口は、今後も労使雇用対策協議会などの場を通じ、労使が抱える諸課題の解決に向け、積極的に取り組んでいきます。

公示 連合山口第30回定期大会

開催日時 2023年11月2日(木)
13時30分～17時30分

開催場所 KAMEFUKU ON PLACE
山口市湯田温泉

議事内容

<報告事項>

- ・2023年度活動報告
- ・2023年度諸会計決算報告、同監査報告

<審議事項>

- ・第1号議案 2024年度運動方針(案)について
- ・第2号議案 2024年度諸会計予算(案)について
- ・第3号議案 役員を選出について
- ・第4号議案 表彰について

もくじ

p1 2023労使トップセミナー p2 2023平和行動in広島・長崎 p3 2023地域組織代表者会議・ワークルール検定・れんごうの日 p4 県央地協だより・労働相談事案



連 合 2 0 2 3 平 和 行 動



in 広 島 ・ 長 崎

～語り継ぐ戦争の実相と運動の 継続で、核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～



▲折鶴の献納

8月5日(土)「連合2023平和ヒロシマ集会」が広島市上野学園ホールにて開催され、全国から1,735名、連合山口からは35名が参加しました。開会前に、各地協より寄せられた平和の祈りが込められた折鶴の献納を行いました。

大野真人連合広島会長は開会挨拶で、「私たち連合広島は決してあきらめることなく、同じ被爆地である連合長崎と手を取り合いながら核兵器廃絶の活動の先頭に立ち続けたい」と決意を述べました。続いて原爆で亡くなられたすべての方の冥福を祈り、全員で黙祷を行いました。



▲芳野会長挨拶

主催者代表挨拶で芳野友子連合会長は「私たち連合は、結成以来核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けた運動を重ねてきた。原爆投下から78年、その体験を語ってくださる方の高齢化が進んでおり、若い世代への活動の継承が重要になる。今回も、連合広島青年・女性委員会が参加者に被爆の実相を伝えるピースガイドとして活動を行った。

皆様にはこの間準備を重ねてきた若者の熱意を感じてもらえたと思う。私たちは78年前の悲劇を決して忘れてはならない。誰もが心の底から願い続ける核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向け、ともに頑張ろう」と訴えました。また、来賓として登壇した郷野晶子国際労働組合総連合(ITUC)会長は、「労働組合運動の根幹は平和であり、平和なくして活動はできない。ITUCは連合のこれまでの平和の取り組みに敬意を表し、核兵器廃絶と世界の恒久平和に向け活動を続けたい」と述べました。



▲被爆体験を語る箕牧氏

続いて「G7サミットとヒロシマ」をテーマに中国新聞の水川恭輔編集委員による講演がありました。水川委員は、「今回のサミットで核軍縮に関する『広島ビジョン』が発表されたが、『核兵器は抑止力としての役割がある』と書かれており、広島が今まで訴え続けてきた『核兵器は人道に対する絶対悪』という考えは反映されなかった。しかし、G7首脳揃っての原爆資料館の見学や被爆者との面会は実現した。今回のサミットだけの一過性の盛り上がりには終わらせず、広島から継続して訴え、具体的な行動を迫ることが必要」と、成果と課題について説明しました。さらに、箕牧智之広島県原爆被害者団体協議会理事長から、当

時の様子や戦後の活動について、実体験を交えてお話いただきました。



▲ピースフラッグリレー

その後、高校生平和大使の皆さんから、各国の大使館訪問などの活動の紹介と、そこで学んだことや感じた事について報告いただきました。その後、大野連合広島会長から、岩永洋一連合長崎事務局長にピースフラッグが渡されました。最後に、「広島からの平和アピール」を参加者全員の拍手で採択し、閉会しました。



▲全員で合唱

8月8日(火)、長崎県立総合体育館にて「連合2023平和ナガサキ集会」が開催され、全体で1,174名、連合山口から8名が参加しました。

清水秀行連合事務局長および来賓挨拶ののち、被爆者の訴えと、「核軍縮再起動への挑戦」についての講演、若者からのメッセージが行われました。最後に、連合長崎から連合北海道へピースフラッグリレーののち、「For The Peace of World」の曲を全員で合唱し、フィナーレを飾りました。

2023地域組織代表者会議を開催



会場の様子

連合山口は、7月28日(金)山口市において「2023地域組織代表者会議」を開催し、各地区会代表、事務局長及び連合山口役員24名が参加しました。

主催者代表挨拶で伊藤会長は「組織率の低下や、組合役員のみならず、政治状況の混迷など、課題は山積している。労働組合活動で大切なのは、決してあきらめず、頑張り続けることである。私たちは今までも様々な試練に直面してきたが、それを乗り越えてきた。過去の

経験を活かし、未来への道筋をつけてほしい。本日の会議を、新たな目標に向けて一致団結する機会としてほしい」と述べました。

続いて各地協事務局長が、今年度の地協・地区会議で行った要請行動や独自行事、当面する課題について報告しました。その後分散会のテーマとなる、連合山口の1年間の活動についての評価と反省と、討論ポイントについて横山副事務局長が説明し、



▲第1分散会

2つの分散会に分かれ、テーマに沿って討論を行いました。それぞれの分散会で、組織拡大や政策要求の方法、会議での女性比率の向上や選挙の投票率改善について、様々な意見をいただきました。

最後に中元事務局長が「選挙やボランティア活動には地域の協力が一番大事になる。連合が一枚岩となって活動できるよう協力をお願いする」と総括を行い、会議を閉会しました。連合山口は、いただいた意見を踏まえ、次年度の運動方針に盛り込んでいきたいと思ひます。



▲第2分散会



ワークルール検定に挑戦!

Q 労働基準法上の管理監督者について、正しいものをすべて選びなさい。

1. 店長の立場にあるものでも、権限や裁量が乏しい場合には管理監督者にあたるとは限らない。
2. 従業員の中で一番賃金が高ければ、それだけで管理監督者として扱ってよい。
3. 管理監督者であっても、深夜割増賃金を支払う必要がある。
4. 管理監督者になれば、年俸制が適用される。

※解答は来月号に掲載いたします。

8月号の解答

解答 ③: 使用者には、労働者が指定した時季に有給休暇を与えることが事業の正常な運営を妨げる場合には、他の時季に年休を与えることを前提に労働者の時季指定を拒否できる、時季変更権があります(労基法第39条第5項)。時季変更権を行使する前に、使用者は従業員が希望した日に有給休暇を取得できるよう勤務計画表を作成したり、代替人員を確保したりといった努力が求められます。

毎月5日は
れんごうの日
9月のテーマは
防災



今年に関東大震災から100年の節目の年です。連合は、改めて「備え」や「支えあい・助け合い」の大切さを次世代に継承し、一人ひとりの命とくらしを守り、誰一人取り残されることのない持続的で包括的な社会の実現に向けて、各組織と連携し積極的に取り組みを進めてまいります。

RENGO ONLINE

9月5日・20日公開の「RENGO ONLINE」には特集記事が掲載されます。



ワークルール検定 2023 秋 初級 中級

<後援>厚生労働省 日本生産性本部

開催日 2023年 11月25日(土)・26日(日) 申込期間 9月4日(月)～9月30日(土)

(受検日時は各自で選択)

初級45分・中級80分

開催地 全国47都道府県

(全国300カ所以上あるテストセンターを受検者が申込時に選択)

検定料(税込) 初級 2,900円(検定+事前講習(web))

中級 4,900円(検定のみ)

9,900円(検定+中級講習(web))

※連合山口組合員は、構成組織・単組を通じてお申し込み下さい。ワークルール検定公式HPで詳細を確認の上、株CBTソリューションズのウェブサイトよりお申し込みください。日本ワークルール検定協会HP(<https://workrule-kentei.jp>)

検定方式が変わります。完全オンライン



一般社団法人日本ワークルール検定協会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
電話番号: 03-3254-0545
E-mail: jimukyoku@workrule-kentei.jp



(WR検/ワークルール検定のロゴまたは名称等は、一般社団法人日本ワークルール検定協会の登録商標です(登録商標5856416号))

地協便り

県央地域協議会から

『2023平和行動in沖縄～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう～』



6月23日～24日に開催された「2023平和行動in沖縄」に、県央地協青年委員4名が参加しました。那覇文化芸術劇場なは一とで開催された「2023平和オキナワ集会」は2部構成で行われ、第1部では「日米地位協定と沖縄」をテーマに、琉球大学の山本章子准教授による基調講演があり、米軍基地に関する様々な問題・事件を始めとした、日米地位協定の問題点について講義して頂きました。第2部の平和式典では、沖縄戦

で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、全員で黙祷を捧げました。その後、沖縄から始まり広島、長崎、そして根室へと続くピースリレーを行い、連合沖縄の東盛会長から、次の平和行動を開催する、連合広島の藤井事務局長にピースフラッグが手渡され、最後に連合沖縄女性委員会の堀川恵委員長による平和アピール案が採択されました。

6月24日は、ピースフィールドワークが実施され、県央地協青年メンバーは嘉数高台(普天間基地)、旧海軍司令部壕、ひめゆりの塔/資料館、魂魄の塔、平和祈念公園/資料館を巡る、戦跡コースに参加し、連合沖縄青年委員会の説明を受けながら、平和学習を

行いました。

参加者の連合山口青年委員会田中健太郎委員長(JEC連合)は「実際に旧海軍司令部が使用した壕に入ったり、資料館で当時の遺品を実際に見たりする機会があったが、学校等の授業で学習するのと、実際に壕内に入り当時の様子を自分の肌で体験することでは、感じ方に大きな差があった。コロナ禍でリモート開催が当たり前となってきた時代ではあるが、実際に現地地で体験することの重要性を改めて知ることが出来た」と感想を述べた後、「青年委員会としても、これからも平和行動に積極的に参加していきたい」と意欲を沸かせていました。

— 県央地協：山根事務局長 —

労働相談事案コーナー

【相談内容】

相談者：30代女性

現在、早朝5時～8時までの3時間、パートとして勤務しています。

先々月に、上司との面談のなかで勤務時間について話し合いを行い、来月から現行の3時間を8時間に変更することでお互いに合意し、時間帯は5～14時までということを確認しました。しかし、実際には、両者で確認した5時～14時までの時間帯ではなく、8時～17時に変更されていました。事前に本人になんの相談も無く、勝手に時間変更がされており、私には考える猶予すら与えてもらえず、全く納得がいきません。今後どう対応すれば良いのでしょうか。

回答

使用者は労働者との合意が取れば、労働契約(雇用契約)の内容である労働条件を途中変更することは可能です。(労働契約法8条)しかしながら時間帯について当初、合意した内容を一方的に変えられていることから、労働条件の不利益変更にもあたります。もう一度上司と話し合ってみてください。その結果、上司から示された、時間帯がどうしても納得いかないようなら、事業所の相談窓口、窓口がない場合は事業所の所在地にある労働基準監督署に相談するよう伝えました。

連合なんでも労働相談ホットライン

秘密厳守!



ひとりで悩まず、まずは
連合に相談してみませんか?

平日 9:30～17:30

連合なんでも 相談無料 秘密厳守 携帯・スマホ OK
労働相談ホットライン いこうよ れんごうに
全国共通
0120-154-052

働くみんなの連合サポート

ワークQ

"Q" Support System for All Workers by RENGO

アクセスは
こちら



地協連絡先

● 県央地域協議会

〒745-0045 周南市徳山港町1-1 旧周南市役所港町庁舎2階
TEL: 0834 (21) 0768 FAX: 0834 (21) 0290

● 東部地域協議会

〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内
TEL: 0827 (22) 0160 FAX: 0827 (22) 0161

● 西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内
TEL: 083 (222) 0869 FAX: 083 (223) 9428

● 中部地域協議会

〒753-0078 山口市緑町3-29 労協会館3階
TEL: 083 (902) 1811 FAX: 083 (932) 1131

[連合山口QRコード]



連合山口 検索

<https://rengo-y.com>